

臨床美術学会 第 17 回大会 2026

開催要項

大会テーマ

臨床美術と創造性の探究

2026 年 11 月 21 日（土）・22 日（日）



臨床美術学会

The Society for Clinical Art

臨床美術学会 第 17 回大会 2026

大会テーマ

臨床美術と創造性の探究

大会長 木戸 修

(彫刻家 臨床美術学会会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)

日時 11 月 21 日 (土) 12 : 30 ~ 17 : 10

※18 : 00 ~ 懇親会 (オプション)

11 月 22 日 (日) 9 : 00 ~ 13 : 00

開催方法 対面 / オンライン同時開催

場所 東京大学 情報学環・福武ホール B2F 福武ラーニングシアター

主催 臨床美術学会

共催 日本臨床美術協会 / TOPPAN 芸造研株式会社

大会長挨拶

木戸 修

(彫刻家 臨床美術学会会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)

今回の大会テーマは「臨床美術と創造性」です。

2026年の春に新しくできた画廊で私は彫刻の個展を行いました。長らく商業スペースのデザイナーとして活躍してきた人物が画廊主となり住宅地の一角に開いたスペースでした。今までにない斬新な展示にしたいという画廊主の希望をかなえるには、どのようにするかとの打ち合わせを私のアトリエで行いましたが、その時のアトリエの風景を見た画廊主が最も興味を示したのは制作途中の情景でした。頑丈な作業台の上に所狭しと並んだ様々の見慣れない工具や機材、回転器の上には作品の心棒となるステンレスの光った太い丸棒で構成された構造、図面やデッサンの紙の一部が張り付いた溶接で少し赤黒く焦げている金属片、そして荒々しい形ではあるが出来上がりの形を想像させる状態まで制作が進んだ制作途中の金属彫刻作品でした。それら制作途中の作品をそっくり台ごと運んで画廊に展示したいと、研磨して鏡面状態にまで完成した同じ形の作品と同時に展示することになりました。展示会期中に来廊者が最も興味を示し、質問や問いかけが多かったのはその制作途中の作品でした。制作中はいろいろなイメージがつぎつぎに湧き上がってきます。こうしよう、ああしよう、こうしたらどうなる、次の作品はどうしようかなど様々な思いが生まれ、次々に新たな構想が生まれてきます。今回の制作途中の作品の展示では鑑賞者が制作者と同様の制作途中のイメージを感じたのかもしれません。

臨床美術では作品の制作途中を臨床美術活動の重要な要素の一つであると考えます。そこには制作する行為の中に創造性が存在しあるいは生まれてくるという美術の本質があるからです。作品の制作中には様々な試行錯誤が行われます。実際に表現行為として作品に表してみることもあれば、イメージの中での様々な変化変更を想像して制作の次の段階に進むこともあります。泉のように次々と構想がわいて光明が見えることもあれば行き詰って制作が止まってしまうことも往々にしてあります。制作する楽しみでもあり苦しみでもあります。制作した作品にどれだけの数の、あるいはどのような試行錯誤が内包されているかが作品の形として表れてくるのだと思います。臨床美術の方法論の、制作過程を重要と考える根底には、作品を創造する美術の本質への理解があると考えられる所以です。奇しくも今回の制作途中の作品を展示する試みが、大会テーマの「臨床美術と創造性」を考察する一助となるかもしれないと思い記しました。

大会シンポジウムでは座長、シンポジスト、コメンテーターの各界の専門家による大会テーマ「臨床美術と創造性」の多角的な考察がなされることと思います。その他の催しも含めて今回の大会の成功を祈念しています。

臨床美術学会 第 17 回大会 2026 ご案内

大会テーマ

臨床美術と創造性の探究

開催日程 2026 年 11 月 21 日（土） 12：30～17：10
※18：00～ 懇親会（オプション）

11 月 22 日（日） 9：00～13：00

大会長 木戸 修
（彫刻家 臨床美術学会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授）

開催方法 対面／オンライン同時開催

場 所 東京大学 情報学環・福武ホール B2F 福武ラーニングシアター
（東京都文京区本郷 7 丁目 3）

主 催 臨床美術学会

共 催 日本臨床美術協会 ／ TOPPAN 芸造研株式会社

会場へのアクセス

東京大学 情報学環・福武ホール

B2F 福武ラーニングシアター



<交通アクセス>

都営大江戸線	本郷三丁目駅	徒歩 7 分
東京メトロ丸ノ内線	本郷三丁目駅	徒歩 8 分
東京メトロ千代田線	湯島駅	徒歩 20 分
東京メトロ南北線	東大前駅	徒歩 10 分

11月21日（土）タイムテーブル

時 間	内 容
12：00～	受付
12：30～12：40	開会式
12：40～14：10	基調講演 「表現の探索活動がもたらす長期的効果」 講 師 岡田 猛 氏 (東京大学 大学院教育学研究科 名誉教授)
14：10～14：30	休憩（20分）
14：30～17：00	大会シンポジウム 「臨床美術と創造性 - AI時代における人間の創造性の価値を考える -」 座 長 保坂 遊 (東京家政大学 教授／ 臨床美術学会副学会長・日本臨床美術協会副理事長) シンポジスト 三輪 和久 (名古屋商科大学経営学部 教授) 大城 泰造 (東北福祉大学准教授／ 日本臨床美術協会・臨床美術学会 理事) 木野内 美里 (株式会社フェリシモ／TOPPAN芸造研 非常勤講師) コメンテーター 岡田 猛 (東京大学 大学院教育学研究科 名誉教授)
17：00～17：10	事務連絡
17：10	終了
18：00～20：00	懇親会（オプション）

11月22日（日）タイムテーブル

時 間	内 容
8：30～	受付
9：00～12：50	研究発表（口頭発表形式）
12：50～13：00	閉会式

※プログラムは変更になる可能性があります。

※研究発表のエントリー数により、時間が変更になる可能性があります。

※プログラムの都合上、研究発表のエントリー数に制限を設ける場合がございます。

11月21日（土） 12：40～14：10

基調講演

表現の探索活動がもたらす長期的効果

講師 岡田 猛（東京大学）

通常の学校の美術授業とは異なり、臨床美術のワークショップでは、うまい下手の評価は行わず、人々の表現に対する思い込みを外して、自由な表現の探索を促すような工夫がなされている。そのようなアート活動を通して、人々は楽しみながら自分の表現を見つけていくことが可能になると想定されている。そこでは優れたスキルの獲得を重視する教育ではなく、自分の表現を探索する教育が目指されていると言えよう。

それでは、探索的アート活動に携わることは、人々にどのような長期的影響を与えるのだろうか？ 創造活動に対するモチベーションや自己効力感は高くなるのだろうか？ 創造活動の触発を受けやすくなるのだろうか？ 日々の生活の中で、豊かなイマジネーションが湧いてくるようになるのだろうか？ ウェルビーイングは高まるのだろうか？

本発表では、このような問いに対して、理論的・実証的観点から考察を加える予定である。その際、探索的アート活動の蓄積を通して獲得される「創造的教養」に関する我々の新しいモデルを紹介し、具体的な事例をもとに説明する。さらに、上述の問いに関して現在実施中の質問紙調査の定量的分析の結果を報告する予定である。加えて、今後実施予定のインタビューが間に合えば、その予備的な質的分析の結果も紹介する。

<プロフィール>

■岡田 猛

1994年、カーネギーメロン大学大学院博士課程修了。Ph.D. in Psychology。名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授、名古屋大学高等研究院流動研究員、東京大学大学院教育学研究科教授、東京大学芸術創造連携研究機構機構長を経て、現在、東京大学名誉教授、東京大学TOPPAN 協創アトライフ寄付講座シニアリサーチフェロー。創造的認知、特に芸術的創作プロセスや芸術家の熟達化、芸術表現の教育的支援等に関心がある。



11月21日(土) 14:30~17:00

大会シンポジウム

テーマ「臨床美術と創造性 - AI 時代における人間の創造性の価値を考える -」

座長 保坂 遊 (東京家政大学 教授／
臨床美術学会副学会長・日本臨床美術協会副理事長)

シンポジスト 三輪 和久 (名古屋商科大学経営学部 教授)
大城 泰造 (東北福祉大学 准教授／
日本臨床美術協会・臨床美術学会 理事)
木野内 美里 (株式会社フェリシモ／TOPPAN 芸造研 非常勤講師)

コメンテーター 岡田 猛 (東京大学 大学院教育学研究科 名誉教授)

シンポジウム趣旨

座長 保坂 遊（東京家政大学）

臨床美術は、年齢や障がいの有無、専門的な美術経験を問わず、一人ひとりの内にある創造性を触発し、新たな自己表現を生み出すとともに、他者との関係性を育む実践として展開されてきた。医療、福祉、教育、メンタルヘルスなど多様な実践現場において、創造的な活動が人の可能性を引き出し、豊かな関係性を育むことができるアートソリューションメソッドとして、その有効性が報告されている。

一方で、生成 AI の急速な進展は、創造性そのものの概念に大きな変化をもたらしつつある。AI は高度な画像や文章、音楽を生成し、人間の社会生活や創作活動を支援する存在となる一方で、「創造する主体とは誰か」、「人間ならではの創造性とは何か」という根源的な問いを私たちに投げかけている。

本シンポジウムは、「臨床美術と創造性」をテーマに、人間の創造性とは何か、そして臨床美術はいかに創造性を引き出し、多様な人々が共に生きる次世代のコミュニティの醸成へと貢献することができるか、多角的な視点から議論を深めたい。

人間の感性を基盤としたアートコミュニケーションの意義や、グローバルな視点から多様な創造性を紡ぐ実践報告に加え、生成 AI 研究の専門家の知見も踏まえながら、人間と AI の創造性の相違や接点、人と AI が協働・共創する可能性、さらには臨床美術実践の新たな展開について考察する。そして、AI 時代においてもなお、人が身体を通して感じ、表現し、他者と関係を結びながら創造することの意味を改めて問い直し、臨床美術がこれからの社会において果たし得る役割と可能性を展望したい。

11月22日（日） 9：00～12：50

研究発表（口頭発表形式）について

本大会では、本学会の趣旨に沿った臨床美術および周辺領域に関する内容（理論研究、実践研究、調査等）についての研究発表（口頭発表形式）を一般募集します。

臨床美術学会設立以来、学会員や大会参加者も増加し、研究や実践フィールドも多岐に亘ってきています。本大会の研究発表は口頭発表形式とし、一会場にて参加者全員で発表内容を共有し、またオンライン参加者の発表・参加も可能です。

口頭発表は、発表者が学術的な研究内容を PowerPoint 等のプレゼンテーションツール（動画含む）にまとめ、発表します。

指定された時間の間、発表者は、オンライン画面共有にて研究内容を発表し、座長や参加者と直接的な質疑応答を行い、学術的な見識を深めたり、問題を共有したり、参加者間の研鑽の機会とします。

また、発表者は研究発表概要へ発表内容の概要を掲載していただきます。
研究発表（口頭発表形式）の申込方法については、13 ページをご覧ください。

※口頭発表はハイブリッド形式（会場・オンライン）で実施します。発表は対面、オンラインのいずれの方法でも可能です。オンライン参加者もすべての研究発表を視聴することができます。

※研究発表は1題あたり20分間（研究発表15分・質疑応答5分）を予定しております。

※申し込み題数により、2日目のプログラム時間が変更になる可能性がございます。

※プログラムの都合上、研究発表のエントリー数に制限を設ける場合がございます。

11月21日（土）18：00～20：00

懇親会・情報交換会（オプション）

対面参加者を対象に、参加者間の交流の場として懇親会を開催いたします。大会参加申し込み時に、あわせてお申し込みください。多くの方のご参加をお待ちしています。

開催場所：東京大学 情報学環・福武ホール

B2F 福武ラーニングシアター ホワイエ

申込方法：大会参加申込時に選択していただく形で受付いたします。

臨床美術学会 第 17 回大会 2026 参加申込のご案内

1. 大会参加費

申込区分 (対面・オンライン共通)	参加費 (事前登録のみ)	懇親会参加費 (オプション)
臨床美術学会会員	11,000 円 (税込)	6,600 円 (税込)
非会員	13,200 円 (税込)	
学生	3,300 円 (税込)	

※1 日のみご参加の場合でも、参加費は上記のとおりです。

※日本臨床美術協会と臨床美術学会の会員は異なります。日本臨床美術協会のみご所属の場合は、非会員の申込区分になります。

参加申し込みの際、臨床美術学会の会員登録の有無を今一度ご確認ください。

2. 申込方法

事前参加登録は、研究発表、懇親会も含め全てオンラインで受付いたします。

臨床美術学会ホームページ「学術大会・イベント情報」ページ内にある参加登録ページにアクセスし、登録画面の必要事項をご記入の上、ご登録ください。

後日、事務局より「参加登録受付」メールを返信いたします。

※メールが届かない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

事前参加登録申込締切：2026 年 11 月 4 日 (水)

注) 本大会では、当日参加受付は行いません。

参加をご希望の方は、必ず期限までに事前参加登録をお願いいたします。

3. 支払方法

参加登録申込後、ご登録いただきましたメールアドレスに「参加登録受付メール」が届きます。お支払内容・振込先等をご案内しておりますので、ご確認ください。

各種参加費入金締切：2026 年 11 月 10 日 (火)

4. 参加申し込み内容の変更・キャンセルについて

参加申込内容の変更またはキャンセルを希望される場合は、臨床美術学会事務局までご連絡ください。

なお、キャンセルに伴う参加費（懇親会費含む）の返金は、以下のとおりといたします。

事前参加登録申込締切日（11月4日）まで：参加費の100%を返金
Zoom の招待 URL・研究発表概要送付前まで：参加費の50%を返金
Zoom の招待 URL・研究発表概要送付後：返金不可

※返金に伴う振込手数料は、返金額から差し引かせていただきます。

また、事前参加登録後、各種参加費の入金締切日までにお支払いが確認できない場合は、お申し込みをキャンセルとして取り扱います。

5. Zoom の招待 URL および研究発表概要送付について

参加費のご入金が確認できた方に、資料およびオンライン（Zoom）参加用の招待 URL をメールにて配信いたします。

※対面参加者にもオンライン（Zoom）参加用の招待 URL は送信いたします。当日急遽ご都合が悪く来場できない場合等は、オンラインよりご参加いただくことも可能です。

メール配信日：11月13日（金）

6. オンラインでの参加方法

- ・有線 LAN または Wi-Fi などインターネット接続環境が必要です。
- ・パソコンまたはタブレットなどの機器をご準備ください。
- ・事前に Zoom アプリをパソコンまたはタブレットにインストールしてください。

臨床美術学会 第 17 回大会 2026 研究発表申込のご案内

1. 発表資格要件

発表代表者は、原則として以下のいずれかに該当する者とします。

①臨床美術学会会員

②日本臨床美術協会会員

③その他本学会が認めた者

*②の方が発表代表者となる場合は、必ず本学会会員が連名発表者で加わることが条件となります。

2. 発表に関する制限

発表代表者となる場合、1 人につき 1 発表に限ります。

連名発表者となる場合は、複数の発表でも構いません。

発表する研究は未発表のものに限ります。

3. 申込方法

研究発表申込は大会参加申込時に選択して頂く形で受付いたします。登録画面の参加オプション「研究発表演題要旨」をご記入の上、登録してください。申込登録が完了すると、ご登録いただきましたメールアドレスにメールが届きます。メールが未着の場合は事務局までお問い合わせください。

研究発表申込締切：2026 年 9 月 30 日（水）

4. 発表受理確認

お申し込みいただいた発表内容は、大会本部にて確認させていただきます。「発表受理」となりましたら、筆頭著者のメールアドレスに発表受理のメールを事務局より順次送付いたします。発表受理のメールが未着の際は事務局までお問い合わせください。

5. 支払方法

研究発表に参加する際は、大会参加費のほかに下記費用の支払いが必要です。大会参加費と併せてお支払いください。

研究発表申込費用：2,200 円（税込）

各種参加費入金締切：2026 年 11 月 10 日（火）

6. 各種準備・提出物の作成

研究発表が受理された後、下記作成・提出物を各期日までにご準備ください。

①研究発表概要原稿：2026 年 10 月 18 日（日）

②当日発表データ：2026 年 11 月 13 日（金）

※各種データの作成方法については、15 ページの「研究発表要領」をご確認ください。

7. 研究発表の取り下げについて

研究発表者が諸事情で研究発表を取り下げる場合、速やかに臨床美術学会事務局までご連絡ください。また、研究発表参加費は原則返金いたしませんので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

研究発表要領（各種データ作成方法・発表について）

1. 研究発表概要原稿について

研究発表概要原稿は、Word 等の文書作成ソフトで作成(A4、1 枚に印刷されることを想定して作成)し、PDF ファイル形式にて、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までお送りください。

ご希望の方には、基本レイアウトに沿ったフォーマットデータをお送りします。研究発表概要原稿を送信する際には、PDF ファイル形式で作成しお送りください。提出された原稿について、誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行いません。そのまま印刷されますので、送信者の責任において確認してください。原稿ファイルを送信する前に必ず印刷をおこない、文字化けや文字つぶれ等がないことをご確認ください。なお、登録した原稿を修正(差し替えを含む)することは一切できませんので、ご注意ください。

原稿全般に関してご不明な点があれば、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までご連絡ください。

(1) 用紙

- ・1 題の研究発表につき、A4 サイズ 1 ページに限る。
- ・**(必ず 1 ページに収めてください)**
- ・横書きとして、背景は無地とする。
- ・上下左右各 20mm の余白をとる。

(2) 原稿の作成

- ・ページ上部に、発表タイトル（副題）・発表者氏名（所属）を大きく示す。
- ・発表タイトルと発表者氏名（所属）の下からは 2 段組で本文を書く。
- ・図表は本文内に掲載し、図表が要旨集原稿の 40%以下になるようにする。

(3) 「発表タイトル・発表者氏名(所属)」について

A.発表タイトル

- ・ゴシック系フォント・中央揃え・要旨集原稿の中で、最も大きいフォントサイズ(12～14pt)とする。
- ・発表申込時の研究発表タイトル(発表タイトルにはサブタイトルも含む)を記載する。
- ・サブタイトルは原則として改行して記載しフォントサイズは発表タイトルのサイズより小さくする。

B.発表者氏名(所属)

- ・明朝系フォント・中央揃え・フォントサイズ(12pt)とする。
- ・連名発表者がいる場合、筆頭発表者の氏名の前に○印をつける。
- ・所属は氏名に続けてカッコ内に記載する。

(4) 本文について

- ・発表タイトル・発表者氏名(所属)下を 1 行あけ 2 段組で作成する。段組の間隔は約 2 文字分あける。
- ・明朝系フォント・左揃え・フォントサイズ(10～10.5pt)とする。
- ・見出しをゴシックや太字にするなどして読みやすくする。

(5) 図表について

- ・図表にはタイトルをつける。複数の場合は通し番号をつける。
- ・本文中の図表数に制限はない。ただし要旨集原稿に占める図表の面積は 40%以下とする。
- ・印刷した際に見やすいものとする。

(6) 書式

- ・書式については作成要領を守っていることを前提として、細部については発表者の判断に任せる。ただし、読みやすさを最優先して作成すること。

(7) その他

- ・原稿は所属先の研究倫理規定・倫理指針等に従い作成すること。

特に次の 3 点には注意すること。

- 1 研究協力者がいる場合、事前に発表の承諾を取ること。
- 2 研究協力者の人権に十分配慮していること。
- 3 他の研究者などの文献から引用がある場合は出典を明記すること。

- ・原稿作成時、特に写真を用いる等の場合は、個人情報やプライバシーの保護に努め、予め発表について対象者の了承を得るか、個人が特定できないように表現には十分留意すること。

(8) 提出について

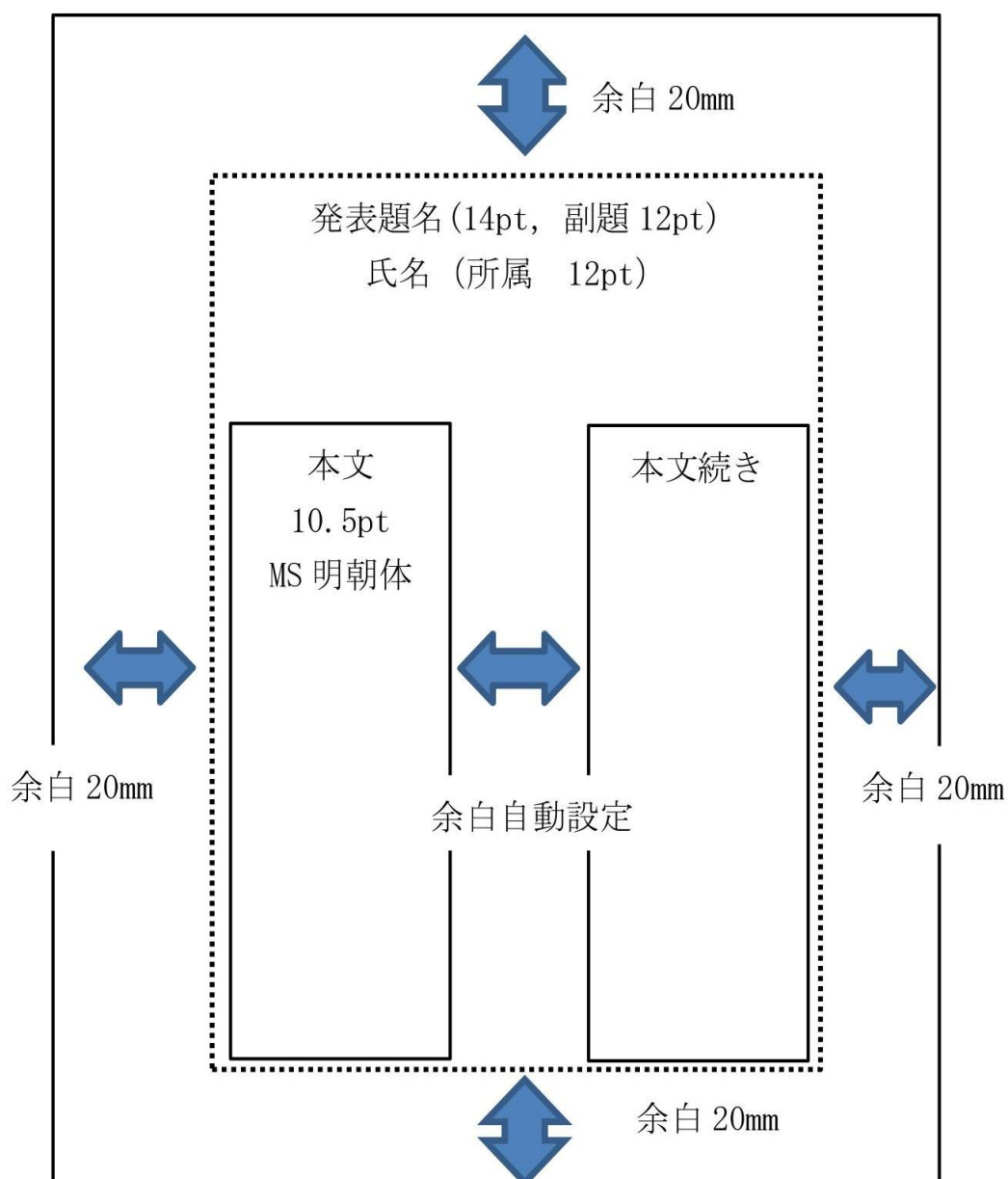
研究発表概要原稿送付締切：2026 年 10 月 18 日（日）（必着）

受付メールアドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp

研究発表概要 原稿作成レイアウト

下記の図に従って作成してください。規定外の手稿は受理できませんのでご了承ください。また、送付された手稿はそのまま印刷しますので、一度提出された手稿の修正、取り下げ及び返却はできませんので、提出の際は十分ご注意ください。

原稿作成レイアウト【図】 A4 1 ページ



2. 当日の発表データについて

(1) 発表データ作成方法

当日用研究発表データは、研究発表論文の内容に照らし合わせて、PowerPoint で作成してください。映像、動画などを用いる場合は PowerPoint 内に埋め込むようにしていただく必要がございます。参加者へ研究発表内容がより伝わるよう創意工夫をしてください。

文字フォントは特殊なものではなく、標準搭載のものをご使用ください。

(2) 発表データ提出方法

当日の発表データを下記期日までに、Dropbox にアップロードしてください。

アップロード先については、別途事務局よりご案内いたします。

データ送付締切 2026 年 11 月 13 日（金）

3. 研究発表の順番について

2026 年 11 月 13 日（金）に配信する研究発表概要にてご確認ください。

4. リハーサルについて

大会前、あるいは、大会初日のプログラム終了後に、リハーサルを予定しています。

リハーサルでは、PowerPoint によるデータ共有や動画再生、音声などの確認を行う予定で、日時など詳細につきましては、対象の方に別途お知らせいたします。

5. 研究発表当日について

- ・大会当日、研究発表代表者は、指定時間までに受付をお済ませください。
- ・大会当日、研究発表代表者は、指定された発表時間に座長の指示に従って、ご発表ください。
- ・発表者の持ち時間は 1 題につき、発表 15 分/質疑応答 5 分となります（発表説明責任時間）。
- ・原則として、連名発表者全員も指定された時間に待機し、討議に参加するようにしてください。参加が難しい場合には、あらかじめ臨床美術学会事務局までお申し出ください。

6. 研究発表（口頭発表形式）の正式認定について

研究発表は、「①研究発表概要への原稿の掲載」、「②口頭発表」、「③質疑応答への参加」の 3 条件を満たすことで正式発表と認められます。発表代表者が「発表説明責任時間」に

不在の場合など（遅刻等を含む）は、発表が取り消されることがあります。また、「発表説明責任時間」の変更はできません。

▼研究発表～当日までの流れ

研究発表申し込み締切：2026 年 9 月 30 日（水）
↓
研究発表概要原稿送付締切：2026 年 10 月 18 日（日）（必着）
↓
各種参加費入金締切：2026 年 11 月 10 日（火）
↓
研究発表概要配信／発表順を確認/当日発表データ提出期限 2026 年 11 月 13 日（金）
↓
発表当日：2026 年 11 月 22 日（日） 上記のうち、発表 15 分／ 質疑応答 5 分

【 お問い合わせ先 】

臨床美術学会事務局

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂 1-9-3
Shonan Eminence 3F

電 話 番 号：050-6861-7227

F A X 番 号：050-3537-8633

メールアドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp